

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田朝子

NO.1

開催月日	令和5年10月25日(水)～26日(木)		
開催時間	10月25日(水) 13:00～14:20		
開催場所	西日本総合展示場 新館		
主催者	全国市議会議長会		
研修会等の名称	第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州		
講師等の氏名等	大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博氏		
内容・結果等	【基調講演】「躍動的でワクワクする市議会へ」		
	○地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する。		
	投票率の低下→議会に関心を持たない、住民に振り向いてもらう		
	○日本の地方議会に欠けていることは何か。		
	①体質・風土をがらりと変える。②基本条例も作っただけでなく、議会改革をしていく		
	○現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと		
	①議場での(公開の場)真剣な議論がない②税の議論がまずない③住民の声が聞こえない		
	○議会の常識と市民の常識をすり合わせるー市民が首を傾けることとは		
	①委員会で議案をもむ ②丁寧に住民の人にわかるように進めていく		
	【まとめと感想】		
	今年度の全国市議会議長会研究フォーラムin北九州は、全国から2399人の参加の下、盛会に開催された。基調講演の片山氏の「躍動的でワクワクする市議会に」を楽しみに参加した。議会の常識と市民の常識をすり合わせる事が大事。今一番議会に欠けていることは住民の目線で丁寧に住民の人にわかるように進めていくことにとても共感した。委員会で議案をしっかりと揉んで、地元の声を聞き、そして予算案を修正していくことを学んだ。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
出席者負担金(参加費)			9,000
旅費			10,820
宿泊費			11,400
振込手数料			385
合計			31,605

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田朝子

NO.2

開催月日	令和5年10月25日(水)～26日(木)			
開催時間	10月25日(水) 14:40～16:40			
開催場所	西日本総合展示場 新館			
主催者	全国市議会議長会			
研修会等の名称	第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州			
講師等の氏名等	◎コーディネーター 谷 隆徳氏(日本経済新聞社編集委員) ○パネリスト ・勢一 智子氏(西南学院大学法学部教授) ・辻 陽(近畿大学法学部教授) ・濱田 真里氏(Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表) ・田仲 常郎氏(北九州市議会)			
内容・結果等	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」			
	(谷氏)…統一地方選挙を振り返る ①投票率は低下傾向続く(41道府県議選:41.85%、294市議選:44.26%、373町村議選:55.49%) ②女性議員の増加:千葉県臼井市:10人(定数18)55.60% ③依然として無投票当選多い(道府県議会:25%、市議会:3.6%、町村議会:30.3%) 21市町選では、定数割れ(前回は8町村)			
	(勢一氏)…多様な人材の議会への参画(・議員の多様化→過少代表の是正、立候補環境と議会環境の整備、議会での多様性の確保・反映、社会全体の変革を)			
	(辻氏)…多様な地方議会(人口規模が大きい自治体は「専業化」、そうでない自治体は「兼業」しないと生活できない			
	(濱田氏)…地方議会に対するハラスメントの現状(立候補を検討中、または立候補準備中に有権者や支援者または議員等からのハラスメントを受けた(女性議員のハラスメント相談センターの設置)			
	(田仲氏)…①カフェトークin北九州～議員とまちを語ろう～ ②ドリームサミット(中学生議会)			
	③平和のまちスタディーツアー(議会棟視察)④議員立法(政策的なもの)			
	【まとめと感想】 統一地方選挙の検証として、投票率の低下や定数割れの現象がみられ、人口規模の小さな自治体では危機的な状態と感じた。多様な人材の議会への参画を促すためには、市民参画のための議会活動を実施し、議会の見える化を進めることが最も重要と感じた。			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		出席者負担金(参加費)		NO1に同じ
		旅費		
		宿泊費		
		振込手数料		
合計				

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

増田朝子

NO.3

開催月日	令和5年10月25日(水)～26日(木)			
開催時間	10月26日(水) 9:00～11:00			
開催場所	西日本総合展示場 新館			
主催者	全国市議会議長会			
研修会等の名称	第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州			
講師等の氏名等	◎コーディネーター(江藤 俊昭氏:大正大学社会共生学部公共政策学科教授) ・辻 弘之氏:登別市議会議長、 ・たぞえ 麻友氏:一般社団法人WOMAN SHIFT理事・目黒区議会議員、 ・永野 慶一郎氏:枕崎市議会議長)			
内容・結果等	【課題討議】「議員のなり手不足問題への取組報告」			
	(江藤氏)〈議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く → なり手不足の問題を再認識する〉			
	①政策競争の欠如 ②有権者意識の危機 ③議会の危機			
	なり手不足は、多様化の欠如、投票率の低下といった地域民主主義の問題			
	(辻氏) 地方議員養成講座の開講(01大学教授:議員はなぜ存在するのか 02企業経営者:地方が生き抜く手段 03現職首長:政治家を志した実際 04地元住民:地域を変えた仕事 05元道選管:公職選挙法の運用 06現職職員:選挙・広報戦)			
	(たぞえ氏)超党派議員のネットワーク形成(2015年8月団体設立:現在50名、44自治体職員が参加)			
	①住所非公開、旧姓使用 ②WOMAN SHIFTのワークショップ ③ママの議員インターン			
	(永野氏)2019年(平成31年)4月の枕崎市議会選挙において初の無投票(定数14名)だった。			
	無投票回避に向けた定数減を決断…特別委員会(7回/年)、市民へのアンケート調査			
	議員報酬はコロナ禍の状況を勘案し、「現状維持(275,000円)」			
	【まとめと感想】議員のなり手不足の解消のためには、選挙資金、議員報酬など環境整備を国、地方で真剣に考えていく必要があると強く感じた。今回の研修で色々な立場の方のパネルディスカッションのを聴くことができ、とても参考になった。			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		出席者負担金(参加費)		NO1に同じ
旅費				
宿泊費				
振込手数料				
合計				